

# 釧路川保全と利用の カヌーガイドライン (改訂版)

2022年3月

釧路湿原自然再生協議会

<http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/tisui/qgmend0000003ppa.html>

# 1. ガイドラインの趣旨

釧路湿原自然再生協議会では、2005 年に釧路湿原自然再生全体構想を策定し、流域住民、行政、専門家等が一体となって釧路湿原の保全と再生、さらにワイズユース(賢明な利用)を進めてきました。釧路川・釧路湿原でのアクティビティについては、従来からよく利用されているカヌーに関して、自然環境への影響の緩和や適正な利用の促進を図るため 2004 年に「釧路川保全と利用のカヌーガイドライン」を策定しました。

一方で、近年の体験型観光ニーズの多様化や道東方面への国内外からの観光客の増加に伴い、釧路川・釧路湿原でのカヌーは、愛好家だけでなく観光客が気軽に体験するアクティビティになってきました。

このような状況を踏まえ、釧路川・釧路湿原の自然環境の保全やカヌーの安全利用を両立するための共通ルール・マナーをよりわかりやすく伝える必要性からガイドラインを改訂しました。

そのため、このガイドラインでは、ルール・マナーのほかに釧路湿原の保全の経緯、カヌーの安全対策、楽しみ方、見どころなどを加筆・更新しています。

釧路川・釧路湿原を訪れる多くのカヌー利用者にこのガイドラインの内容を理解して頂くことで、多くのカヌー利用者が釧路川・釧路湿原の大自然に触れ親しみ、安全にカヌーを楽しまれることを願っています。



雄大な自然に溶け込むカヌー航行

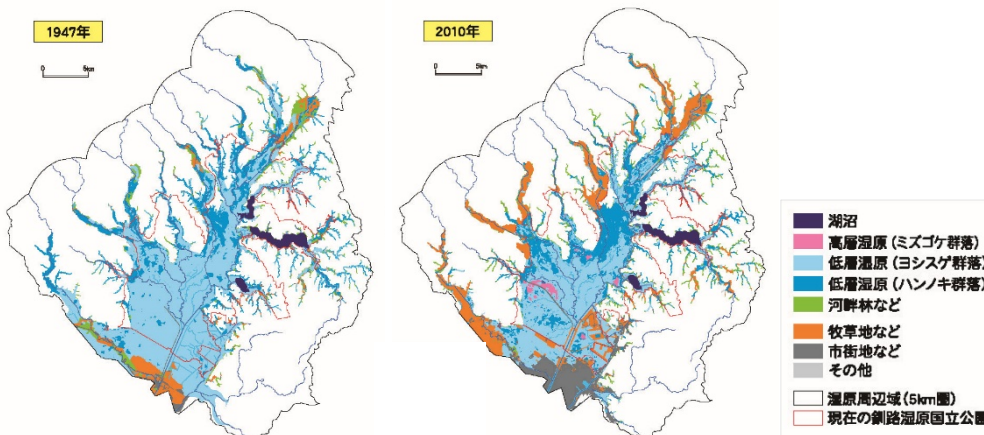
# 2. 釧路湿原の歴史と自然再生協議会

釧路湿原が直面している最も大きな課題は湿原面積の急激な減少です。1950 年に約 3.2 万 ha あった湿原は 2010 年には約 2.6 万 ha となり、この 60 年間で約 2 割減少しました。周辺から流入した土砂が湿原に堆積しハンノキ林が増加するなどの質的な変化も進行しており、湿原の生態系に大きな影響を与えています。

釧路川では 1880 年代から流域の開発が始まりました。大正 9 年の大洪水を契機に釧路川の治水工事が始まり、1940 年代後半からの森林開発、1960 年代からの農地開発も相まって、流域の人口は 1950 年代に急増しました。釧路湿原はおよそ 6 千年の年月を経て形成されてきたといわれていますが、このような湿原周辺の変化が湿原の急激な変化につながったと考えられました。

このようななか釧路湿原の自然環境を保全・回復させる取組みが始まり、1970 年代からの湿原保護運動の高まりもあり釧路湿原は 1980 年には国内最初のラムサール条約登録湿地となり、1987 年には釧路湿原国立公園として指定されました。

さらに 2003 年に釧路湿原自然再生協議会(以下、協議会)が発足し、釧路湿原の自然再生や利活用を地域の協働で行う取組みが始まりました。協議会は個人、団体、関係行政機関らからなり、自然再生の目標を達成するための具体的な事業の進め方を議論してきました。今後も協議会では湿原の保全と利用促進を両立させるよう取り組んでいきます。



釧路湿原  
自然再生協議会  
ホームページ

釧路湿原の変化(かつてはヨシ・スゲ群落が大半だったが縁辺部からハンノキ林が広がってきた)

### 3. 釧路川・釧路湿原について

釧路川は屈斜路湖を発し数々の支川が合流したのち釧路湿原の中に入り、湿原を大きく蛇行しながら流れ、釧路市街を貫流して太平洋に注ぐ、屈斜路湖から河口までの距離約 96.8 km、流域面積約 2,510 km<sup>2</sup>の一級河川です。

釧路川には多くの野生生物が生息し、釧路湿原では特に国指定特別天然記念物であるタンチョウや、絶滅危惧種で日本最大の淡水魚イトウなどの希少種が生息するように、湿原特有の生態系が形成されています。

釧路湿原自体も国の天然記念物であり国立公園にも指定されています。また湿原内にある塘路湖などはかつて海であったときの名残の海跡湖であり、多くの渡り鳥の飛来地になるなど貴重な湖沼環境となっています。

また釧路川は、屈斜路湖から河口まで堰堤などの横断工作物がなく、上流部の樹林間の流れや下流の湿原景観まで豊かな自然を通して体感できることもあり、国内外から愛好家が集うカヌーのメッカとなっています。



湿原の中を蛇行する釧路川

#### ～ 四季をとおした釧路湿原の魅力 ～

##### 春の魅力

春の釧路湿原は、雪解け水により釧路川の水位が高くなるため、カヌー上から湿原を遠くまで見通せられることから、広大な湿原の景観を楽しむことが特徴です。

次々と芽吹く新緑の中、厳しい冬の寒さを乗り越えた動物たちが活発に活動しはじめるなど、一年の中で最も生命力が感じられる季節です。カヌーからエゾヤマザクラを望む花見ができる場所もあります。

##### 夏の魅力

夏の釧路湿原は、植物が色濃く生い茂り、川全体が緑に包まれます。夏であっても川面から吹く冷涼な風を感じながら至福の時間を過ごすことができ、運が良ければタンチョウやエゾシカに出会うことができます。早朝は霧に包まれることも多く、幻想的な景色が非日常へと誘ってくれます。

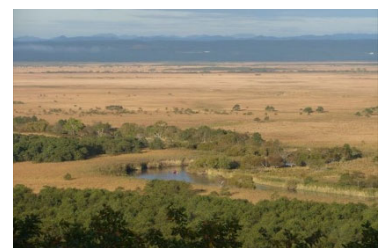
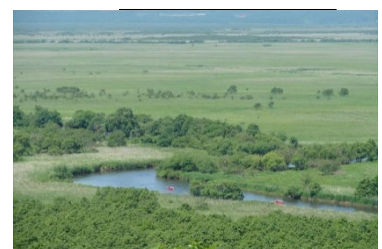
##### 秋の魅力

秋、釧路湿原は夏の緑色から秋模様へと一変します。上流では紅葉が彩り、湿原では一面黄金色のヨシ原が絶景を生み出します。エゾシカの繁殖期にあたり、高らかな鳴き声が辺りに響き渡ります。

##### 冬の魅力

冬の釧路湿原は、静寂さが最大の特徴です。霧氷の花が咲く中、ゆったりとカヌーを楽しむことで、いつしか自然の中に溶け込んでいく優雅な時間を過ごすことができます。

一面の銀世界を進む極寒のカヌーは、冬でしか味わえない特別な水辺空間を体感できます。



写真提供：(株)釧路マーシュ&リバー



## 6. カヌーを安全に楽しむために

釧路川は、大自然の中で非日常を感じられる魅力がある一方で、一般道からのアクセスは困難でどこにいるのか所在を把握しづらいことから、事故が発生した場合の救助も難しい特徴があります。

上級者でも安全のためには個々の意識が重要です。また、カヌー初心者や釧路川が初めての方には、釧路川に精通したカヌーガイドを利用することも有効です。

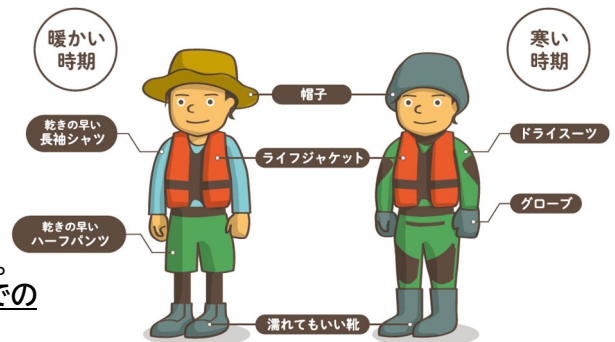
### ◇安全利用の基本事項

#### 【装備・事前準備】

- **ライフジャケット(浮力体)は必須です。**
- **水温・気温に適したウェアを身につけましょう。**
- 着替えやタオルなどを持っておきましょう。
- 携帯電話等は防水袋に入れるなど対策を施しましょう。

#### 【危険行為の回避】

- 自分の技量を理解したうえで航行区間を設定しましょう。
- **事故が起ころうとも発見しづらいため、できるだけ単独でのカヌー利用は避けましょう。**
- **増水時、強風時など悪条件下での航行はやめましょう。**
- この地域の天候の特徴や川の特性などを事前に調べて理解しておきましょう。



### ◇釧路川の特徴と注意事項

- 釧路川は夏でも水温が低く、霧が発生した場合は気温が急激に下がります。
- 万が一転覆した場合、急激に体温が奪われます。専用ウェアを着用するか、着替えを持っておくなど準備をしましょう。
- 湖沼は風が強いと波浪が高くなり、バランスを崩しやすいため注意が必要です。
- 上流域は川幅が狭くて流れが速く、水面下に見えない倒木が多くあります。倒木に乗り上げて転覆しないよう注意が必要です。
- 中流域には護岸ブロックなど人工構造物が多くあります。水面下で見えない場合もあり、特に水際近くにカヌーが寄ったときは注意が必要です。
- 湿原域は川が蛇行し、湾曲部の流れは複雑です。また風が通りやすく突風もあります。
- 河口域は、海からの波浪の影響を受けバランスを崩しやすくなります。
- 河川・湖沼では携帯電話が繋がりにくい場所が多くあります。



### カヌーに乗る前のチェックシート

ライフジャケット(浮力体)を着用しましたか？	既設の駐車場を利用していますか？
気象情報(特に風、気温)は確認しましたか？	動力船(禁止行為)を使用していませんか？
水温・気温に適した専用ウェアを着用していますか？	カヌー発着場所は確認しましたか？
カヌーポートを基点とした航行計画を立てましたか？	着替えやタオルなどの装備は十分ですか？
過度な積載はしていませんか？	トイレは済ませましたか？
携帯電話等の防水対策を施しましたか？	

### ◇お役立ち情報

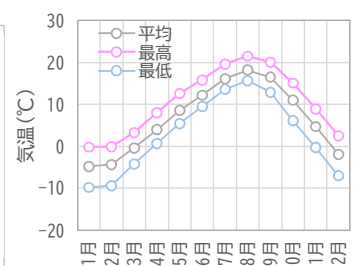
天気予報  
【気象庁】



気象警報・注意報  
【気象庁】



河川水位等  
【国土交通省／川の防災情報】



## 7. 釧路川でのカヌーの楽しみ方

釧路川でのカヌーの魅力は、豊かな自然に囲まれ車の騒音などが届かない大自然の中で、水の音や鳥の声、風の音などに耳をかたむけ、多くの野生動物との出会いを通して、自然をより身近に感じられることです。

また北海道には、アウトドア活動に対する経験や知識が求められる「北海道アウトドアガイド」の資格制度があります。こうした資格を持つガイドとともにカヌーを楽しむと釧路川・釧路湿原の魅力さをさらに満喫できるでしょう。

北海道アウトドア  
資格制度の  
ホームページ



### ■人気のカヌーコース

ここでは違った魅力を感じられる上流域と湿原域でのコースを紹介します。このほかでもカヌーポート、カヌー発着可能箇所を利用して、自分にあったコース設定をしてカヌーを楽しむと良いでしょう。運が良ければタンチョウ、オジロワシ、オオワシ、エゾシカ、キタキツネなど野生動物に出会えるかもしれません。

#### **A** 【上流域：<sup>くつしやろこはん</sup>屈斜路湖畔～<sup>びるわかし</sup>美留和橋】

●延長約 7km ●所要時間の目安 1 時間 30 分～2 時間

釧路川の起点となる屈斜路湖畔から釧路川本川を下り美留和橋に至る区間です。屈斜路湖でもカヌーができます。水の透明度は高く、細かな蛇行の繰り返しや河川の両岸からせり出す倒木が釧路川の源流風景を象徴しています。釧路川の中では比較的流れが速い区間のため、カヌーに慣れていない方は経験者やガイドと一緒に下ることをお勧めします。



写真提供：SOMOKUYA

#### **B** 【湿原域：<sup>ごじやく</sup>五十石～<sup>かやぬま</sup>茅沼】

●延長約 8km ●所要時間の目安 1 時間 30 分～2 時間

五十石橋をスタートし、河川改修により直線化した区間や自然再生事業により蛇行を復元した区間を通り茅沼に至るコースです。途中にいくつもの中州や倒木などの障害物が点在し、コース選択に気を付けながらカヌーの操縦を楽しむことができるコースです。



写真提供：(株)釧路マーシュ&リバー

#### **C** 【湿原域：<sup>どうろこ</sup>塘路湖～<sup>ほそおか</sup>細岡】

●延長約 10km ●所要時間の目安 1 時間 30 分～2 時間

釧路湿原最大の湖である塘路湖でもカヌーを楽しむことができ、アレキナイ川から釧路川に入り、釧路川本川を下って細岡カヌーポートに至る区間です。広大な湖、細い支流、雄大な釧路川本川と異なるロケーションを一度に堪能できるのが最大の魅力です。

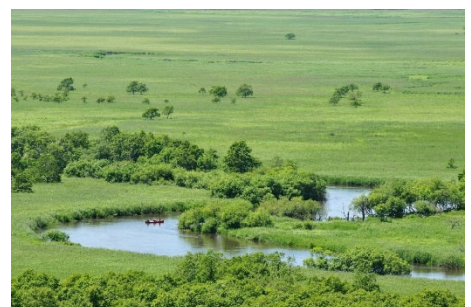


写真提供：釧路開発建設部

#### **D** 【湿原域：<sup>ほそおか</sup>細岡～<sup>きゆういわぼつ</sup>旧岩保木水門】

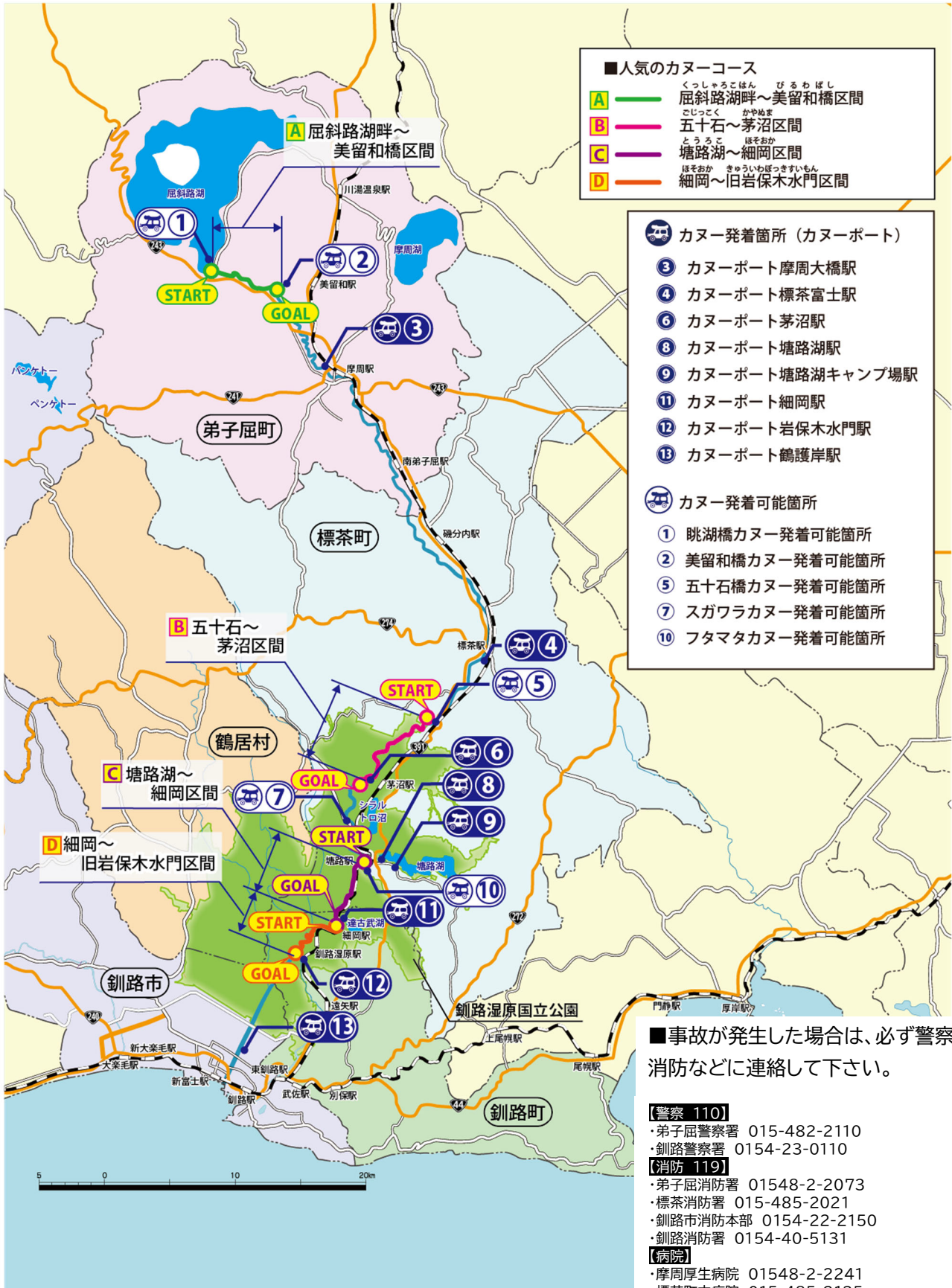
●延長約 8km ●所要時間の目安 1 時間 30 分～2 時間

細岡カヌーポートをスタートし、釧路湿原を蛇行して流れる釧路川をゆったりと下り、歴史的な建造物として親しまれている旧岩保木水門に至るコースです。周囲には広大な湿原にヨシが生い茂り、最も釧路湿原らしさを感じられるコースの一つです。



写真提供：釧路開発建設部

■カヌーコースマップ



- 人気のカヌーコース
- A 屈斜路湖畔～美留和橋区間  
くつしゃろこほん びるわぼし
  - B 五十石～茅沼区間  
ごじょく かやぬま
  - C 塘路湖～細岡区間  
とうろこ ほそおか
  - D 細岡～旧岩保木水門区間  
ほそおか きゅういわぼつきすいもん


- カヌー発着箇所 (カヌーポート)
- 3 カヌーポート摩周大橋駅
  - 4 カヌーポート標茶富士駅
  - 6 カヌーポート茅沼駅
  - 8 カヌーポート塘路湖駅
  - 9 カヌーポート塘路湖キャンプ場駅
  - 11 カヌーポート細岡駅
  - 12 カヌーポート岩保木水門駅
  - 13 カヌーポート鶴護岸駅
- カヌー発着可能箇所
- 1 眺湖橋カヌー発着可能箇所
  - 2 美留和橋カヌー発着可能箇所
  - 5 五十石橋カヌー発着可能箇所
  - 7 スガワラカヌー発着可能箇所
  - 10 フタマタカヌー発着可能箇所

■事故が発生した場合は、必ず警察、消防などに連絡して下さい。

【警察 110】  
 ・弟子屈警察署 015-482-2110  
 ・釧路警察署 0154-23-0110

【消防 119】  
 ・弟子屈消防署 01548-2-2073  
 ・標茶消防署 015-485-2021  
 ・釧路市消防本部 0154-22-2150  
 ・釧路消防署 0154-40-5131

【病院】  
 ・摩周厚生病院 01548-2-2241  
 ・標茶町立病院 015-485-2135  
 ・釧路労災病院 0154-22-7191  
 ・釧路赤十字病院 0154-22-7171  
 ・市立釧路総合病院 0154-41-6121  
 ・釧路市医師会病院 0154-41-2299  
 ・釧路協立病院 0154-24-6811



カヌー体験事業者  
／北海道釧路総合振興局

# 釧路川保全とカヌー利用の情報マップ



**釧路川でみられる主な水鳥**

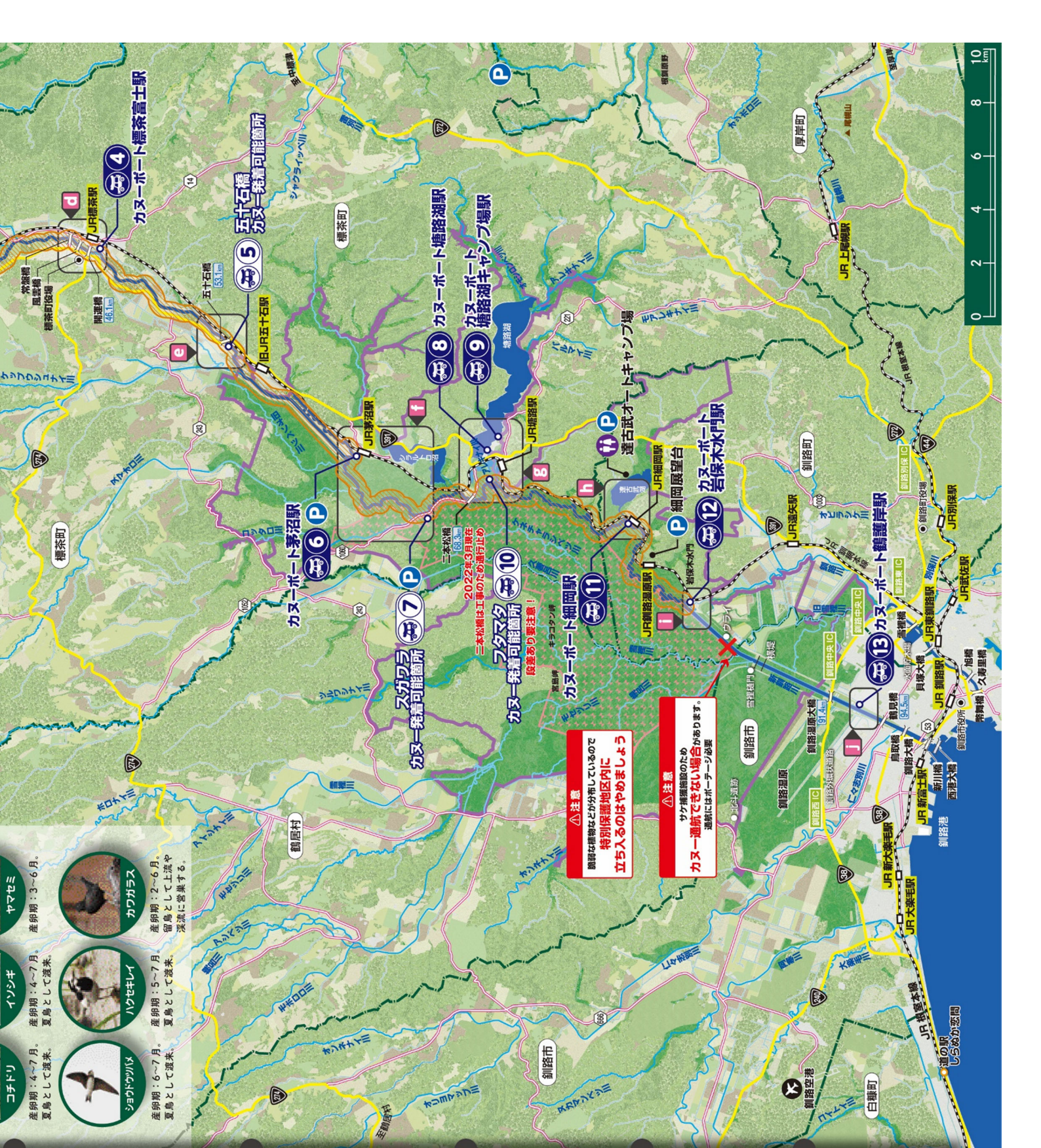
	<b>アオサギ</b>	産卵期：4～5月。 日本最大のサギ類。		<b>ヨシガモ</b>	産卵期：4～6月。 主に夏鳥として渡来。
	<b>カワアイサ</b>	産卵期：4～6月。 周年生息する。		<b>タンチョウ</b>	産卵期：3～4月。 繁殖・幼鳥期：3～8月。
	<b>マガモ</b>	産卵期：4～7月。 周年生息する。		<b>ヤマセシ</b>	
	<b>コチドリ</b>			<b>インシキ</b>	

**注意**  
摩周大橋から下流約6km区間はカヌー航行禁止  
工事区間・危険箇所あり

**警告**  
カヌー転落事故多発  
H30.6 カヌー流失  
H29.7 カヌー流失

- 凡例**
- カヌー発着箇所 (カヌーポート)
  - カヌー発着可能箇所
  - トイレ
  - 駐車場
  - ブロック等の注意箇所
  - 落ち込み
  - 国立公園区域
  - 特別保護地区
  - タンチョウへの配慮区間
  - 国道
  - 道道
  - JR
  - 市町村界





**コチドリ**  
産卵期：4～7月。  
夏鳥として渡来。

**ショウドウツバ**  
産卵期：6～7月。  
夏鳥として渡来。

**ハウセキレイ**  
産卵期：5～7月。  
夏鳥として渡来。

**カワガラス**  
産卵期：2～6月。  
留鳥として上流や  
深流に営巣する。

**ヤマセミ**  
産卵期：3～6月。

**△注意**  
鶴岡は雑樹などが分布しているため  
特別保護地区内に  
立ち入るのはやめましょう

**△注意**  
サケ稚魚放流のため  
カヌー通航できない場合があります。  
通航にはボーターが必要

**f カヌーポイント茅沼駅周辺**

茅沼駅  
かや沼  
振興会館横

カヌーポイント茅沼駅  
カヌー発着可能箇所

スガワラ  
カヌー発着可能箇所

**g カヌーポイント塘路湖キャンプ場駅周辺**

塘路湖  
塘路湖  
塘路湖

フタタタ  
カヌー発着可能箇所

カヌーポイント塘路湖駅  
カヌー発着可能箇所

元村ハウスばる

**h カヌーポイント細岡駅周辺**

細岡駅  
カヌーポイント細岡駅

達古武オートキャンプ場

**i カヌーポイント岩保水門駅周辺**

岩保水門  
カヌーポイント  
岩保水門駅

**j カヌーポイント鶴護岸駅周辺**

鶴護岸駅  
カヌーポイント鶴護岸駅

カヌー発着箇所④及び発着可能箇所⑤の丸数字は  
前のページのカヌーコースマップに対応しております。

## 8. 今後の取組み方針

釧路湿原自然再生協議会地域づくり小委員会では、釧路川や釧路湿原の自然環境の保全のため、このガイドラインの内容を多くのカヌー利用者や関係者にご理解・ご協力頂けるよう、普及・啓発活動や関係者とのコミュニケーションの推進に努めます。

また、ラムサール条約の目的に基づき、湿原の保全・再生、ワズユース(賢明な利用)、交流・学習について地域の方々、関係者との意見交換や調査・検討を重ねていながら、今後も自然再生事業に取り組んでいきます。

### 4つの基本理念

#### 【ワズユース】



湿原ウォーキング

釧路川・釧路湿原の自然環境を将来にわたり保全しながら、積極的に利活用していきます。

#### 【野生生物の生息・生育環境の保全】



雪裡川のタンチョウ

釧路川・釧路湿原にはたくさんの野生生物が生息し、今ある環境に依存して生きる種もいます。現在の環境を大切に将来にわたって釧路川・釧路湿原を保全していきます。

#### 【ルール・マナーを守る】



細岡展望台

釧路川・釧路湿原は誰もが利用できる公共空間です。利用者が互いの行動を尊重して、みんなが自然を利用できるルール・マナーを醸成していきます。

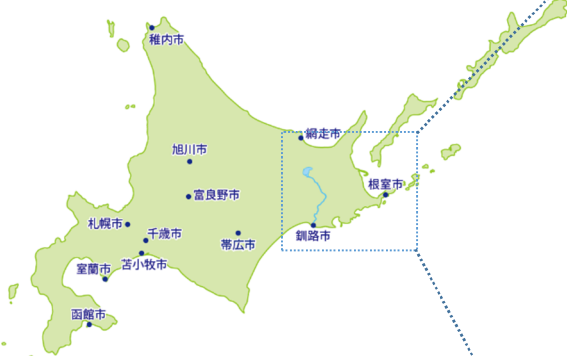
#### 【安全に対する配慮】



安全なカヌー航行

釧路川・釧路湿原では思いがけないトラブルに見舞われる可能性もあります。それぞれが自然の中のことを十分意識し、責任を持った行動をしましょう。

### ■ 釧路川・釧路湿原へのアクセス



(車での所要時間)

目的地	女満別空港	中標津空港	釧路空港
屈斜路湖	約1時間	約2時間	約1時間30分
塘路湖	約2時間	約1時間30分	約1時間
釧路湿原(細岡)	約2時間	約1時間30分	約45分

#### 問い合わせ先

釧路湿原自然再生協議会  
地域づくり小委員会運営事務局  
●国土交通省北海道開発局釧路開発建設部治水課  
●環境省釧路自然環境事務所  
●北海道釧路総合振興局産業振興部商工労働観光課

【所在地】〒085-8551 釧路市幸町10丁目3番地

【TEL】0154-24-7250(釧路開発建設部治水課)

【ホームページアドレス】

<http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/tisui/qgmend0000003ppq.html>

【メール】hkd-ks-river@mlit.go.jp

川へ行こう！  
川を楽しもう！



かわたび  
ほっかいどう

